

# ここから 人の一生を支える 歯科医師として生きていく。

歯科医師になる。  
これはゴールではありません。

「口腔の健康は全身の健康を支える」  
これは、歯科医学を口腔科学として捉えた、  
開設当初から貫く先駆的な考え方です。  
つまり歯を診ることは、人を診ること。  
噛む、話す、笑う。口が担う役割そのすべてが、  
人の尊厳と生の豊かさにつながっています。

ここは、歯科医学の最前線。  
国家資格取得を見据えた実践的な教育と、  
臨床経験を通し、精緻な技術を磨く環境があります。  
なにより、医療人として生涯の使命感を養い、  
同じ志を持つ仲間と切磋琢磨できる場です。

口から人の一生を支えること。  
この志には、覚悟がある。だからこそ、  
「歯科医師になりたい」ではなく、  
「歯科医師として生きていく」。  
その決意に、全力で応えます。

## 教育ビジョン

# Oral Science

歯科医師は虫歯を治療するだけでなく、  
口腔の健康を通じて全身の健康を支えるために、  
ますます重要となってきます。  
松戸歯学部は歯科医学を  
「オーラルサイエンス(口腔科学)」と捉え、  
医学の一分科としての教育を行っています。

### がん予防

唾液には発がん性を減少させる物質も含まれています。  
清潔で健やかな口腔環境を保つことは、がんの予防にも  
大切です。

### 脳の活性化

噛むことは脳の活動を活発にします。自分の歯で噛める  
ことが認知症の予防にもつながります。

### 感染予防

口はからだの入口です。口腔の清潔が肺炎などの感染  
予防にとっても役立ちます。

### 消化促進

よく噛んで食べると、食べ物と唾液がよく混ざり消化吸収  
を助けます。そして、胃腸の負担も軽くします。

### 体力向上

しっかりと噛むことは歯やあごの発育だけでなく、丈夫  
なからだづくりの基本です。

### 口臭予防

さわやかな息は、やさしいエチケット。歯周病や内臓疾患  
などでは病的口臭が現れます。

### 豊かな表情

美しい歯は輝く笑顔の主役です。健康な口は豊かな表情  
をつくります。

# 松戸歯学部 3つの特長

第118回(2024年度)  
歯科医師国家試験合格者数(総数)

77名

## 1 附属病院と連携した実践的な臨床実習

指導医、患者さん、医療スタッフと関わりながら診療に参加します。附属病院での実習を通じて、知識・技術だけでなく、柔軟なコミュニケーションスキルを身に付けることができます。実習の舞台となる附属病院は、歯科大学附属病院として電子カルテを国内初導入し、様々な最新検査機器を備え、複雑化・多様化する医療ニーズに対応したスキルを身に付け即戦力となる歯科医師を養成します。

### 全国でも来院患者数 トップクラスの附属病院

来院患者数、年間21万人以上、1日約720人、年間入院患者数延べ約2,400人。全国の歯学部附属病院でもトップクラスの来院患者数を有する附属病院では、患者さんのご協力により豊富な臨床経験を積むことができます。また当院は、国家試験合格後における臨床研修の実施機関として、約70人の研修歯科医の受け入れ体制を整えています。

### 患者さんを中心とした 機能的な医療環境

地上4階の附属病院棟には、歯科治療用ユニット183台、ベッド数31床を備えています。21診療科(歯科17科、医科4科)を機能的に配置し、患者さんを中心とした構造になっています。また、最新鋭のCT、MRI等を有するなど、充実した医療環境を整えています。

### 地域歯科医療の 中核を担う附属病院

附属病院は、口腔の健康は全身の健康を支える「オーラルサイエンス(口腔科学)」の理念のもと、新たな歯科医療の分野に挑戦を続けています。臨床実習の場であると同時に地域歯科医療の中核を担い、最新の設備で高度な医療を提供する一方、地域に根ざした取り組みを積極的に行っています。

## 2 「医療行動科学」でプロ意識を修得



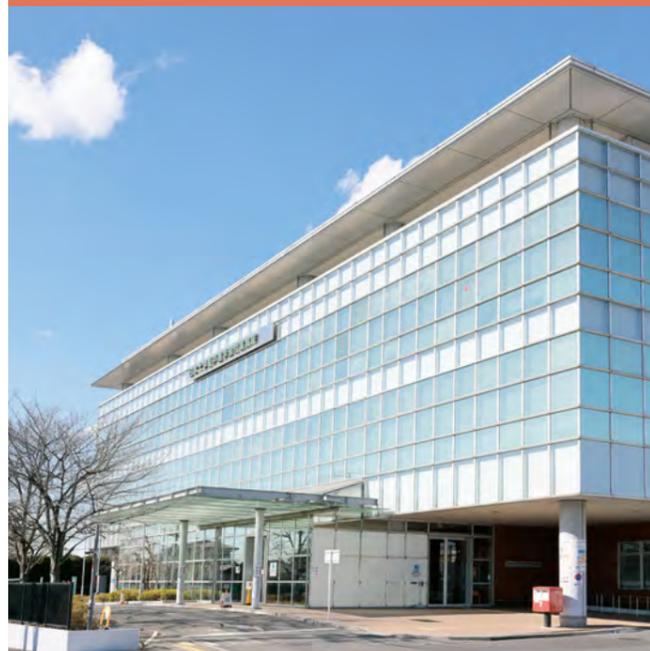
カリキュラムポリシーにうたわれている「対人関係能力や医療人としての人格を備えた全人的な歯科医師を養成」の観点から、1～4年次にわたり「医療行動科学1～4」を設置しています。患者さんの声に耳を傾け、その思いをくみ取って適切な説明・治療ができるよう、講義や実習を通して患者心理の理解を深め、プロフェッショナリズムを修得します。

## 3 教職員が一丸となったきめ細やかな学修支援



1年次から4年次までに配置された学修サポート委員と学年担当が、学生や保証人との面談を定期的に行い、成績の状況に応じて学修方法や弱点補強のための工夫などのアドバイスを学生一人ひとりに行います。また5・6年次では、それぞれ10～12名程度の班に2～3名の教員を配置し、臨床実習へのアドバイスや歯科医師国家試験に向けての助言など、きめ細やかな学修支援を行います。

### 附属病院の診療科紹介



#### 診療部門

##### 【歯科】

放射線科 / 臨床検査科 / 病理診断科 /  
総合歯科診療科 / 歯科疾患管理科 /  
口腔機能維持管理科 / 健康増進歯科 /  
保存科 / 補綴科 / 歯周科 / 小児歯科 /  
矯正歯科 / 特殊歯科 / 口腔外科 /  
麻酔・全身管理科 / 口腔インプラント科 /  
顎関節・咬合科 / 地域医療連携統括センター

##### 【医科】

内科 / 脳神経外科 /  
頭頸部外科・耳鼻咽喉科 /  
心臓血管外科

\*詳細はこちらをご覧ください。



## 松戸歯学部学び

MATSUDO POINT!

### 学生教育の質を高める「教育・学修総合センター」

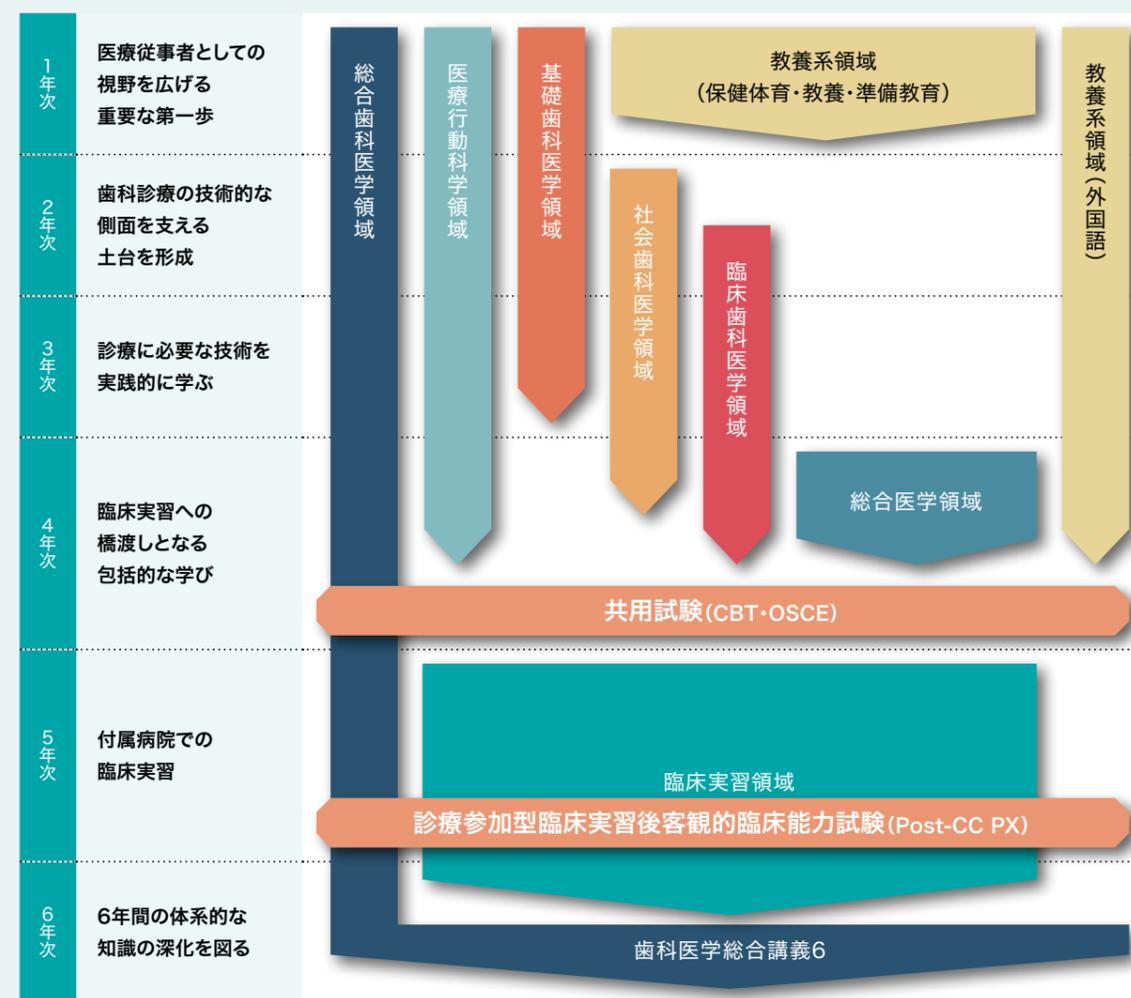
松戸歯学部では「教育・学修総合センター」を設置し、学修を支援する教育システムを構築しています。収集した成績等のデータに基づいて作成した教材を学生に提供し、苦手分野の克服を目指しています。また、全ての試験成績に基づいて分析したデータを学生にフィードバックすることで、学びを確実に進めるためのサポートを行っています。

## 全人的な歯科医師を養成する教育システム

基礎歯科医学と基礎医学の「学問体系別講義」と、1つのテーマに様々な専門分野の教員がアプローチする「統合型講義」を連携させた総合的な教育体制を敷いています。また、各学年で段階的に知識や技術を修得できる「歯科医学総合講義」を設置し、一人ひとりの学修到達度を確認しながら効率的に学修を進めることができる独自の「歯科医学教育システム」を確立しています。



\*詳細はこちらをご覧ください。



## 歯科医師国家試験

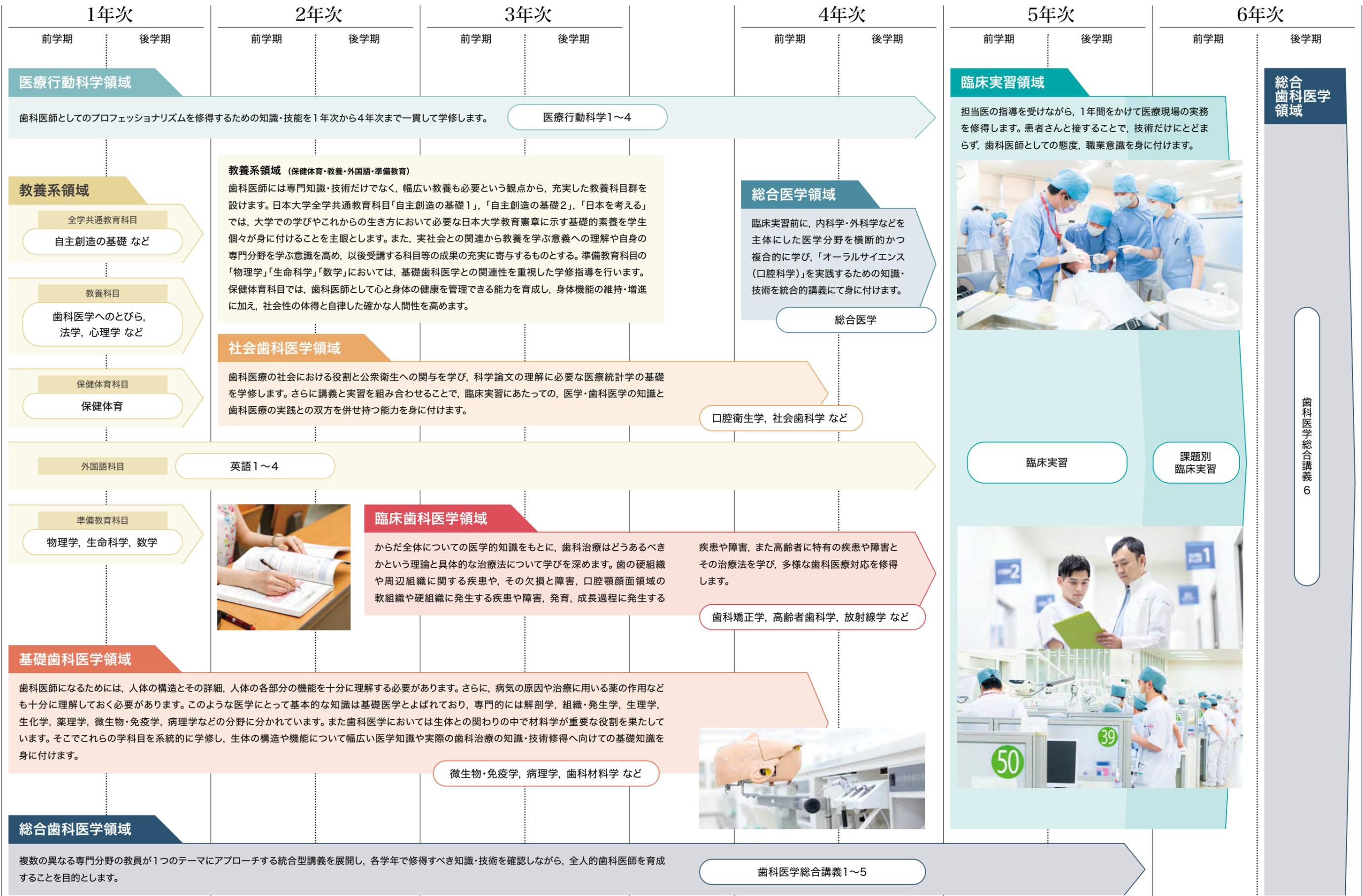
### 共用試験(CBT・OSCE)

「共用試験」は、実際に患者さんと接する際に必要な知識・態度・技能を身に付けているかを判断する試験で、臨床実習前の学修のまとめとして実施されます。コンピュータを用いて知識・問題解決能力を評価するCBTと、態度・診察技能を評価する客観的臨床能力試験OSCEがあり、この試験に合格すると5年次に進級し、臨床実習に進むことができます。

### 診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(Post-CC PX)

「診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(Post-CC PX)」は、臨床実地試験(CPX)と一斉技能試験(CSX)から成り、臨床実習を通して身に付けた臨床能力を評価します。

# 6年間のカリキュラム



基礎的な歯科医学を総合的・複合的に学ぶ

幅広い教養の知識と



学生インタビュー

Student Interview

現在、松戸歯学部3年次生として学んでいます。1年次では生物学、数学、物理学などの基礎科目や歯の解剖学を学修し、大学で専門的な学問を学ぶための切り替えの時期でした。2年次に進級すると、履修科目が大きく変わり、薬理学、組織学、微生物学などの専門的な内容を学ぶようになりました。特に、解剖学では人体の構造かつ生命の尊さを学べる貴重な機会となりました。

2年次から、新しい校舎に移りました。学生たちが勉強し交流できるスペースのラーニング・commonsがあり、最新の設備が整った環境で学修できることが、とても嬉しく思っています。

また、松戸歯学部における大学生活で、様々な学会や研究に参加する機会がたくさんありました。昨年4月から放課後の時間を活用し、自分が興味を持つ研究プログラムに参加し、8月に日本歯科医師会主催の歯学生の研究発表会であるSCRPで優勝しました。先生と先輩方のご支援のおかげで海外へ行く貴重な機会を得ました。これからも知識と技術を磨き、6年間の課程をストレートで卒業し、歯科医師として社会に貢献できるように努力していきます。

ジベク アイデンさん(3年次生)

学びの特色

Featured Learning

歯科矯正学



講義と実習を行いながら学修を進めます。講義では、歯科矯正学の歴史と定義、正常咬合、不正咬合の原因および予防などを学びます。実習では、不正咬合の治療がどのような装置によって行われるか、また、歯がどのように動くのかについて、実際の矯正器具を使いながら理解を深めます。

高齢者歯科学



現代の超高齢社会において、高齢者に関する歯科医学、歯科医療の知識は非常に重要なものとなっています。高齢者歯科学では、加齢による口腔内の変化をはじめ、高齢者をとりまく社会経済的環境、保健福祉制度をはじめとした、超高齢社会における歯科医師に必要な知識、技能を学修します。

4年次前学期の時間割 (令和7年度 参考)

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	障害者歯科学	高齢者歯科学	口腔顎顔面外科学	総合医学 [有病者歯科検査医学]	小児歯科学
2	歯科矯正学	歯科保存学2		総合医学 [内科系]	歯科補綴学2 [クラウン・ブリッジ補綴学]
3	歯科矯正学 (実習)	社会歯科学	歯科保存学2 (実習)	歯科医学総合講義4	歯科補綴学2 [クラウン・ブリッジ補綴学]
4		歯科補綴学2		医療行動科学4 [歯科臨床判断学]	歯科補綴学2 (実習)

教員からのメッセージ

Message from the teacher

1年次では一般教養科目を中心に学びますが、歯科医療の基礎を築く「歯の解剖学」や、医療従事者としての倫理観を養う「医療行動科学」といった専門科目も含まれています。これらは、医療従事者としての視野を広げる重要な第一歩です。

2年次には「解剖学」、「生理学」、「組織・発生学」など、体の構造と機能を深く理解する基礎医学の学びが本格化します。また、「歯科材料学」や「生化学」、「薬理学」の基礎を学ぶことで、歯科診療の技術的な側面を支える土台を形成

します。

3年次になると臨床系の講義や実習が始まり、診療に必要な技術を実践的に学びます。ここでは、患者対応や症例分析のスキルが求められるため、1・2年次に培った基礎力が試されることとなります。

4年次では、総合的な歯科医学知識をもとに、国家試験対策を含むより高度な専門教育が行われます。また、OSCE(客観的臨床能力試験)やCBT(コンピュータを使用した試験)といった共用試験の準備を進め、臨床実習への橋渡しとなる包括的な学びが求められます。

1～4年次生の学びは、歯科医療の専門家として患者の健康を守る使命を果たすための準備期間です。基礎から専門へと段階的に学びを積み重ねるプロセスは、必ず将来の大きな力となります。困難な局面もあるでしょうが、志を持ち、目標に向かって努力を続けてください。皆さんが立派な歯科医師として活躍する日を楽しみにしています。

伊東浩太郎 准教授



付属病院での臨床実習

全国トップクラスの来院患者数を誇る



学生インタビュー

Student Interview

松戸歯学部では、5年次から付属病院での臨床実習がスタートし、実際に患者さんと接することで歯科医師として必要な知識や臨床能力を深める機会がはじまります。

実習は各診療科で一定期間行われるため、専門的な知識を体系的に学ぶことが可能です。4年次までは座学中心で知識を蓄えることが主でしたが、臨床実習ではそれらを実践的に活用するため、歯科医師としてのスキルを磨くことができます。

また、実習中心の5年次では、空き時間を活用し、自習室等での自主学習や試験対策に取り組むことに

なります。

松戸歯学部の大きな特徴は、教員と学生の距離が近く、コミュニケーションが活発なところ。分からないことがあれば気軽に相談できるため、疑問から理解までの段階をスムーズに進めることができます。

こういった環境の中で、実習を通じて専門知識だけでなく、実践力や柔軟な対応力も身に付けることができ、歯科医師を目指す歯学生としての成長を強く実感しました。

梅村 匡さん(6年次生)

学びの特色

Featured Learning

診療参加型臨床実習(SD診療)

付属病院を受診する患者さんの診療に参加し、歯科医療の実践力を培います。指導医のもとで、初診時医療面接と応急処置、診査・検査・情報収集と分析、総合的治療計画の立案、患者さんへの説明まで学生が行います。さらに、指導医の指示を仰ぎながら実際に患者さんの治療を担当し、患者さんとの良好な関係構築のためのコミュニケーション能力と診察技能を高めます。



課題別臨床実習



6年次に実施され、各診療科で参加型臨床実習を行いながら、新5年次生に基本的臨床能力を指導することで自身の知識・技能・態度を見直し、より専門的な知識・技能・態度を統合的に修得します。

歯科医学総合講義6



診断・治療・予防までの一貫した診療を実践できる歯科医師を目指して講義を行い、歯科医師国家試験の合格に向けて6年次までに履修した知識・技術を集約します。

教員からのメッセージ

Message from the teacher

5年次では付属病院での臨床実習が始まります。ローテーションで各診療科に配属され診療に参加していきます。臨床の現場を見ることで、4年次までに学んできた内容について理解を深めることができます。見学や介補だけでなく、担当患者の診療では自ら治療計画を立て実際に治療を行います。知識や技能とともにコミュニケーション能力も求められ、臨床実習を通して医療人と

しての自覚が芽生えていきます。

6年次になると歯科医学総合講義6が始まります。松戸歯学部では歯科医師国家試験の傾向を分析し、国家試験対策となる講義を行っています。定期的な面談もあり、いつでも先生方に質問や相談をすることができます。また、放課後も使用できる学修スペースがあり、勉強に集中できる環境が整っています。

6年間という長い学生生活ですが、学生の皆さんには将来どんな歯科医師になりたいか思い描いて、夢を持って学んでいただけたらと思います。私たちはその夢を実現できるよう全力でサポートしていきます。

石井かおり 専任講師

